

3次元CADデータPMIを用いて

さらに業務効率化、コスト削減が可能に

7/30
申込締切

この講座で得られること

- ✓ 3Dデータを“活用できる設計情報”へと進化させる視点
- ✓ 設計～検査までのデータ連携の具体的手法
- ✓ 海外標準を踏まえた実践的な知識



こんな方に
おすすめ

- ✓ 3D CADのさらなる活用を検討している
- ✓ 設計と製造・検査の連携に課題がある
- ✓ グローバル基準に対応したい

< 対象者 >

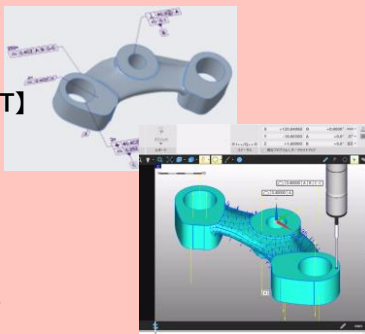
- ・機械設計者/CAD利用者
- ・生産技術/製造技術者
- ・品質保証/検査部門
- ・DX/デジタル化推進担当者

講演1 13:35～15:05

3D図面が変わる、 これからの一気通貫ものづくり

～美しい3D図面こそが、セマンティックPMI実現の鍵～

- ・3D図面とは（従来図面との違い）
- ・セマンティックPMIとは
- ・公差設計と幾何公差について【GD&T】
- ・自動測定/自動判定へ
- ・美しい3D図面とは
- ・3D図面化の取り組みステップ
- ・ジェネレーティブデザインの紹介
- ・海外における3D図面事例
- ・実導入による成果事例を紹介します。



講師紹介

栗山 弘氏

(株)プラーナー 会長

セイコーエプソン株式会社にて24年間、開発・設計部門でTVウォッチや映像機器などの世界初商品の開発に従事。2000年に総合人材育成本部 設計・技術研修センター部長に就任。同社在籍中およびそれ以降を含め約300件の特許を出願する。2001年にプラーナーを設立（社長）、2012年から会長。高度ポリテクセンターや信州大学のほか、約120社の上場企業内で公差解析や設計教育で指導実績を持つ。おもな著書に『公差設計入門』（日経BP）、『ケーススタディで理解する幾何公差入門』（日刊工業新聞社）、『3次元CADから学ぶ機械設計入門』（森北出版）などがあるほか、『機械設計』（日刊工業新聞社）や『日経ものづくり』（日経BP）など技術雑誌への寄稿が多数ある。

講演2 15:20～15:50

3D図面における計測技術 ～測れないものは作れない～

福岡県工業技術センター機械電子研究所
生産技術課 専門研究員 竹下 朋春氏



福岡県工業技術センターでは、CAEによる設計支援や、現物の強度評価など、県内企業の支援をしています。本講演では、3D図面による、従来の寸法公差だけでは表現できない部品の幾何公差の評価について、3次元測定機や3Dデジタイザにより、どのように測定されるのかをご紹介します。

日時 令和8年 8月6日(木) 13:30～16:00

申し込み
フォーム



会場 福岡県立飯塚研究開発センター 多目的ホール（福岡県飯塚市川津680番地41）

申込方法 右記URLまたは二次元コードからお申込みください。 <https://form.cird.or.jp/R8digitalsekkeiopen>

お問合せ (公財)飯塚研究開発機構 高橋、村田 TEL: 0948-21-1156 E-mail: takahashi@cird.or.jp